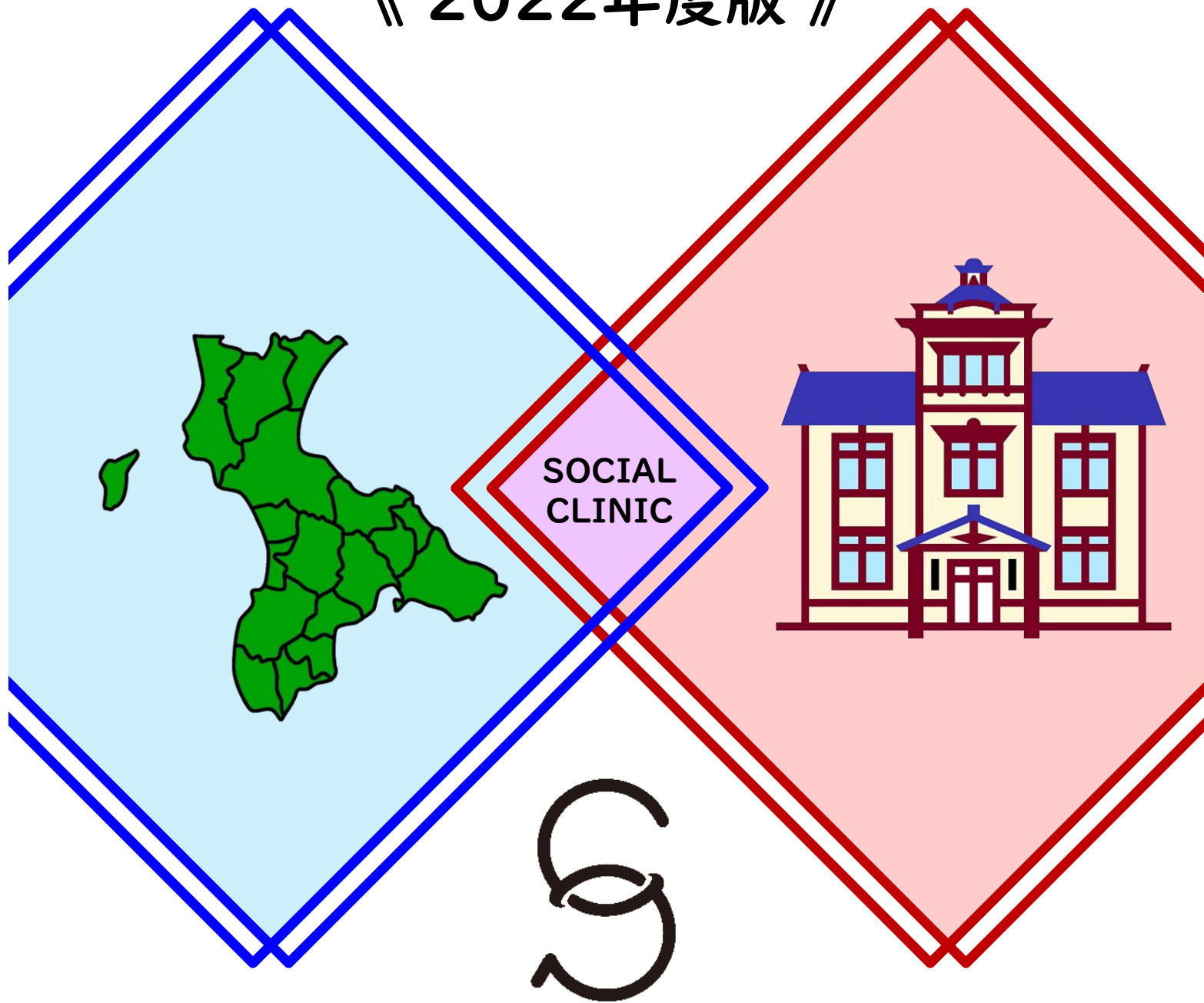


地域協働シーズ集

《 2022年度版 》



目次

ごあいさつ	1
地域協働推進センターについて	1
国際地域学科について	2
函館校が取り組む地域協働活動	3
地域プロジェクトについて	4
地域と大学との協働体制構築イメージ	6

教員紹介

① 青木昌雄【数学 代数幾何学 はこだて国際科学祭】	8
② 阿部二郎【教員養成 障害者教育 技能指導】	9
③ 有井晴香【地域のくらしと文化 教育開発】	10
④ 飯山雅史【アメリカ 政治 外交 安全保障 宗教】	11
⑤ 五十嵐靖夫【発達障害 心理アセスメント】	12
⑥ 石井洋【算数科授業研究 国際教育協力】	13
⑦ 石森広美【英語科教育 異文化理解 国際理解教育】	14
⑧ 伊藤美紀【やさしい日本語 日本語学習支援 ICT活用】	15
⑨ 伊藤泰【法の経済学的な分析 法の哲学】	16
⑩ 奥田秀巳【教育倫理学 教育哲学 道德教育】	17
⑪ 奥平理【まちあるきガイドと観光 観光とまちづくり】	18
⑫ 金子信也【衛生学・公衆衛生学 疫学・予防医学】	19
⑬ 北村博幸【実行機能 発達障害 知的障害】	20
⑭ 紀藤典夫【理科教育 地学 古生物学 地球環境】	21
⑮ 金鉉善【民事法学 法教育 根抵当制度】	22
⑯ 木村育恵【ジェンダーと教育 教員社会】	23
⑰ 古地順一郎【多様性 カナダ ケベック 地域政策】	24
⑱ 小林真二【文学の魅力 読書の楽しみ 現代文の読み方】	25
⑲ 孔麗【国際企業 水産加工業 外国人労働者政策】	26
⑳ 齋藤征人【健康な地域づくり 地域の互助体制づくり】	27
㉑ 佐々木昌太郎【英語 言語学 認知言語学 英語教育】	28

②②	佐藤香織	【 地域での日本語教育 日本語支援 】	29
②③	高橋修	【 ヘルマン・ヘッセ 昔話の国際比較 道南の伝説 】	30
②④	高橋圭介	【 ことばの意味の分析 やさしい日本語の活用 】	31
②⑤	田村伊知朗	【 政治思想 交通思想 路面電車 】	32
②⑥	外崎紅馬	【 ソーシャルワーク 福祉教育 生涯学習 】	33
②⑦	内藤一志	【 日本文学 国語科教育 】	34
②⑧	中村直樹	【 子どもの貧困 子ども虐待 子育て環境 】	35
②⑨	河錬洙	【 人権・平和 日韓問題 国際人権 】	36
③⑩	橋本忠和	【 美術教育 アートプロジェクト プログラミング教育 】	37
③①	畠山大	【 地域が主体の経済開発 経済教育 】	38
③②	林美都子	【 記憶力 創造性 習慣化するチカラ 】	39
③③	藤井麻由	【 社会政策 統計データ 】	40
③④	星野立子	【 シェイクスピア 英米文学 ロシア文化 】	41
③⑤	細谷一博	【 知的障害 学習形態(交流及び共同学習支援) 】	42
③⑥	本田真大	【 学校臨床 子育て支援 乳幼児教育 心理学 】	43
③⑦	松浦俊彦	【 環境技術 ナノ材料 応用物理学 】	44
③⑧	松橋博美	【 触媒化学 化学教育 】	45
③⑨	三上修	【 鳥と人との軋轢の解消 環境教育 】	46
④⑩	村上健太郎	【 生物多様性 シダ植物 OECM グリーンインフラ 】	47
④①	森谷康文	【 多様性の地域づくり 移民・難民の社会統合 】	48
④②	山口好和	【 情報活用能力 ICTと教育 横断的な学び 】	49
④③	尹鈇喜	【 若者の自立 脱北者の地域社会への定着 】	50

ごあいさつ

この「地域協働シーズ集」は、北海道教育大学函館校国際地域学科の趣旨に基づき、地域との協働を一層実質的に推進するために毎年発行しております。各教員の専門分野や具体的に提供できること、学生と一緒に取り組めることなどを検討し、協働の可能性について提案するものです。

地域協働推進センターでは、研究・教育を通じて地域の課題解決に取り組むため、日々奮闘を続けています。【社会協働部門】が取り組んでいる「ソーシャルクリニック」では、地域の皆様と教員や学生が、地域課題の把握・調査・対応・解決方法などを模索し、共に改善・解決を目指して協働しています。【人材養成プログラム部門】では、多様なバックグラウンドを持つ人々が共生していく現代社会において、地域課題をグローバルな視点で多角的に捉え、共生・協働を主導していく「国際地域イノベーター人材養成プログラム」を開発・運営しています。【教育協働部門】では、これまで様々な学校現場との連携を進めてきました。加えて、本校が「地域プロジェクト」等で培ってきた“地域と協働するノウハウ”は、高校で導入が図られている「総合的な探求の時間」などにおいて、一層お役に立てるものと思います。

【地域課題の把握】→【解決策の模索】→【教育・研究への反映】→【地域の教育現場への更なる還元】と、本校らしい地域と大学との協働の在り方、実践と理論との往還のカタチは、今随所に芽吹き始めています。

試行錯誤を重ねている段階のため行き届かない面もございますが、一步ずつ前進して参りたく存じます。皆様方より、ご教導・ご協力を賜れば幸いです。

地域協働推進センター長 齋藤征人

地域協働推進センターについて

【概要】

当センターは【社会協働部門】【人材養成プログラム部門】【教育協働部門】を設置し、以下のような取り組みを通して地域の課題解決、並びに再生や活性化といった地域貢献に資することを目的としています。

- ① 本学函館校の有する人的資源、知的資産及び施設、並びに教育・研究活動の成果を活用すること。
- ② 地域主体との協働の推進、地域協働に関連する教育及び人材育成の推進並びに国際地域学の探求のために必要な研究を推進すること。
- ③ 上記①および②を持続的、発展的に取り組むための仕組みづくりを行うこと。

【ソーシャルクリニック（SC：地域課題診療所）事業】

地域課題の診療所のような存在をイメージした、本校オリジナルの地域と大学との協働モデルです。大学と地域が協働をして、①共に地域課題を見つけ診断し、②共に解決に向けた処方箋を書き、③共に解決策（治療）を実施します。それにより、地域が活性化し、地域の中にある大学が、地域とともに持続的に発展することを目的としています。大学と地域との結節点であり、大学にとっては、研究や教育におけるフィールドワークの場として、地域にとっては大学の知的資源（シーズ）へアクセスできる場・装置となることを目指します。

[→地域協働・協力のご相談は「地域協働・協力相談シート」\(P51\)をお使いください。](#)

国際地域学科について

国際地域学科の趣旨（2014年設置）

キャンパスマップ



北海道教育大学

教員養成課程



札幌校

旭川校

釧路校

国際地域学科



函館校

芸術・スポーツ文化学科



岩見沢校

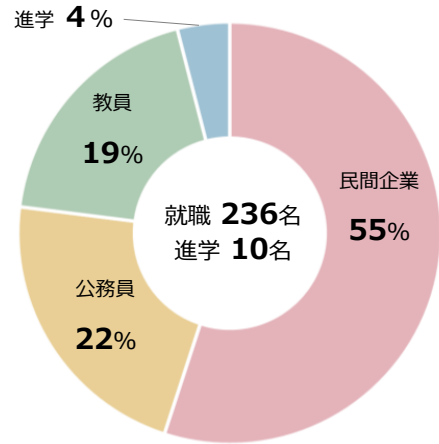
札幌駅前サテライト



hue pocket

- ◆ 国際的な視野と教育的なマインドを持って地域振興を担う人材を養成
- ◆ 広い意味での教育を基軸としつつ、国際的な視野から地域の諸問題解決を志向する総合的知としての**地域学**を中心に学ぶ

2021年度
卒業生進路状況



函館校 国際地域学科の構成

国際地域学科
定員285名

地域協働専攻
定員240名

学士〈地域学〉

地域教育専攻
定員45名

学士〈教育学〉

国際協働グループ^o 定員100名

国際協働科目群
英語・英米文化科目群
日本語・日本文化科目群

地域政策グループ^o 定員 80名

社会科学系科目群
社会福祉系科目群

地域環境科学グループ^o 定員 60名

地球環境科学系科目群
理科・環境系科目群
数学・情報系科目群

函館校が 取り組む **地域協働活動**

これらの活動を推進する組織が**地域協働推進センター**です
地域のニーズと大学のシーズをしっかりと繋ぎます！

学生主体

- ◆ ボランティア活動
- ◆ サークル活動

- 〈きつずゆにおん〉
町内会館で子ども達が楽しめる活動を提供
- 〈函館サンタラン実行委員会〉
闘病中の子ども達にサンタに扮してプレゼント
- 〈SPORTS北海道〉
小学生～高齢者対象のスポーツ教室
- 〈サマースクール in 函館〉
知的障害児対象の夏期休暇支援

学生・教員

- ◆ 地域課題解決型科目
- ◆ 地域現場実習型科目

- 〈地域プロジェクト〉
全学生必修：約40種 [→詳細は次頁](#)
- 〈ソーシャルクリニックと地域〉
人口減少問題への対応や地域振興、被災地での復興支援、地域の情報を魅力的に発信するスキルなどを学ぶ
- 〈地域づくり支援実習〉
約2週間滞在し、課題を抱える地域づくりを支援
(胆振東部地震被災地の支援・森町の就業体験など)
- 〈観光コンシェルジュ実習〉
学生目線での観光プラン作成や情報発信を実践
(まちあるき体験・ガイドコース造成など)
- 〈教員ごとの活動〉
生態系の調査・商店街再生政策の立案・小学生向けワークショップなど

教員主体

- ◆ 調査・研究
- ◆ 出張講演・授業
- ◆ 地域協働事業
- ◆ 地域学習支援

- 〈まちづくりカフェ〉
中高生を含む地域の多様な世代の気軽な会話からまちづくり(江差町・八雲町など)
- 〈地域学習支援〉
小・中・高での地域創生・探究学習を支援
(涌元小学校・知内高校・市立函館高校・函館西高校など)
- 〈各種調査・研究〉
専門性を活かし地域の特色や課題を把握
遠隔教育システムを利用した共同研究(福島中学校)
- 〈出張講演・授業〉
専門性を活かし社会教育に貢献
[→詳細は「教員紹介」\(P8~P50\)](#)

地域プロジェクトについて

◆ 函館校全学生の1年間必修科目

- ・道南地域の課題解決をはかるPBL（「Problem Based Learning」 & 「Project Based Learning」）型科目
- ・大半の教員が担当、平均6～9名ずつの学生で実施
- ・プロジェクト数は約40（国内最大規模）

◆ 地域と協働し実践 ↔ 座学

- ・地域と協働しながら、地域の課題を的確に理解した上で解決するためのプロジェクトを立案・実践

◆ 将来地域で活躍するための力を養う

- ・真剣に課題解決に取り組んだ成果は直接 or 間接？
→将来地域に残って支える学生を共に育てて頂ければ有難い

代表的な地域プロジェクトの概要

◆ 弁天町における小学生を対象とした地域活性化プロジェクト

人口減少・高齢化、空き家率が上がる西部地区のニーズに合わせて、地域の子どもを対象としたすまいるクラブの企画や弥生小学校への訪問を行うことで、西部地区において大学生と地域の子どもが交流できる場を作った。

◆ 「財政教育プログラム」刷新協働プロジェクト with 函館財務事務所

小中学生に向けた「財政教育プログラム」の問題点を特定するとともに、それを解決するための具体的な内容を構想し、実際に附属函館中学校等で模擬授業を行った。

◆ はこだてエコライフ推進プロジェクト

学生自身や地域の方に「エコライフ」について深く理解していく機会を作り、共に学んでいくことが目的。「エコライフ」に関する各種イベントへの参加や函館市日の出清掃工場の見学をし、「函館エコライフ推進勉強会」を主催した。

◆ Enjoy Study プロジェクトB ～スタディレンジャー～

子どもたちの学習意欲を高めるため、ゲーム感覚で勉強を楽しみ、学習意欲を高めるきっかけを作る活動を計画・実施した。

地域プロジェクト I・II (必修)

国際協働グループ

- ◆ The English Newsletter Project
- ◆ 函館・西部地区における多世代交流プロジェクト
- ◆ 函館ジャーナリズム
- ◆ やさしい日本語と外国語
- ◆ Wikipedian 養成プロジェクト @十蘭生誕120周年
- ◆ 地域としての外国人労働者の受け入れ
- ◆ 外国にルーツを持つ児童・生徒への日本語学習支援プロジェクト
- ◆ 哲学カフェ@はこだて
- ◆ サブカルチャーがもたらす地域貢献
- ◆ 「やさしい日本語」活用プロジェクト
- ◆ 函館からSustainable Development について考える
- ◆ 函館の国際交流活動の現状と課題
- ◆ 函館と演劇文化
- ◆ 函館の民俗記録保存プロジェクト —函館のオシラサマを題材に—

地域政策グループ

- ◆ 七飯大沼清掃・美化お手伝いプロジェクト 2022
- ◆ 子どもを対象にした法教育プロジェクト
- ◆ 『財政教育プログラム』刷新協働プロジェクト with 函館財務事務所
- ◆ HUE レインボーはこだてプロジェクト (HUERHP)
- ◆ 森町の特産品をかんがえて、つくって、販売する！プロジェクト ~北海道教育大学 函館校 × Gスクエア × 商舎~
- ◆ 後期近代の時代精神と地域内の公共的人員交通における路面電車の役割 —その延伸の可能性と不可能性に関する実証的考察
- ◆ QOL向上支援のための健活プロジェクト
- ◆ 子どものことを考えた地域をつくる！ ~チャイルドファーストな地域づくり~
- ◆ 道南地域くらし応援プロジェクト (MIMIZ編集室)
- ◆ 障害のある人の地域生活支援プロジェクト —NPO法人自立の風かんばすとの連携—
- ◆ 外国人の就労と定住を支援するプロジェクト (&U Project)

地域環境科学グループ

- ◆ 数学を楽しむワークショップ・プロジェクト
- ◆ 遺跡の環境整備・プロジェクト
- ◆ 地域における音環境の調査と提案
- ◆ キャンパスを中心とした地域の環境および景観の向上
- ◆ はこだてエコライフ推進プロジェクト
- ◆ 函館山自然環境保全プロジェクト
- ◆ 地域のプログラミング教育の実態調査
- ◆ 地域とともに原子力発電を環境学的に考える

地域教育専攻

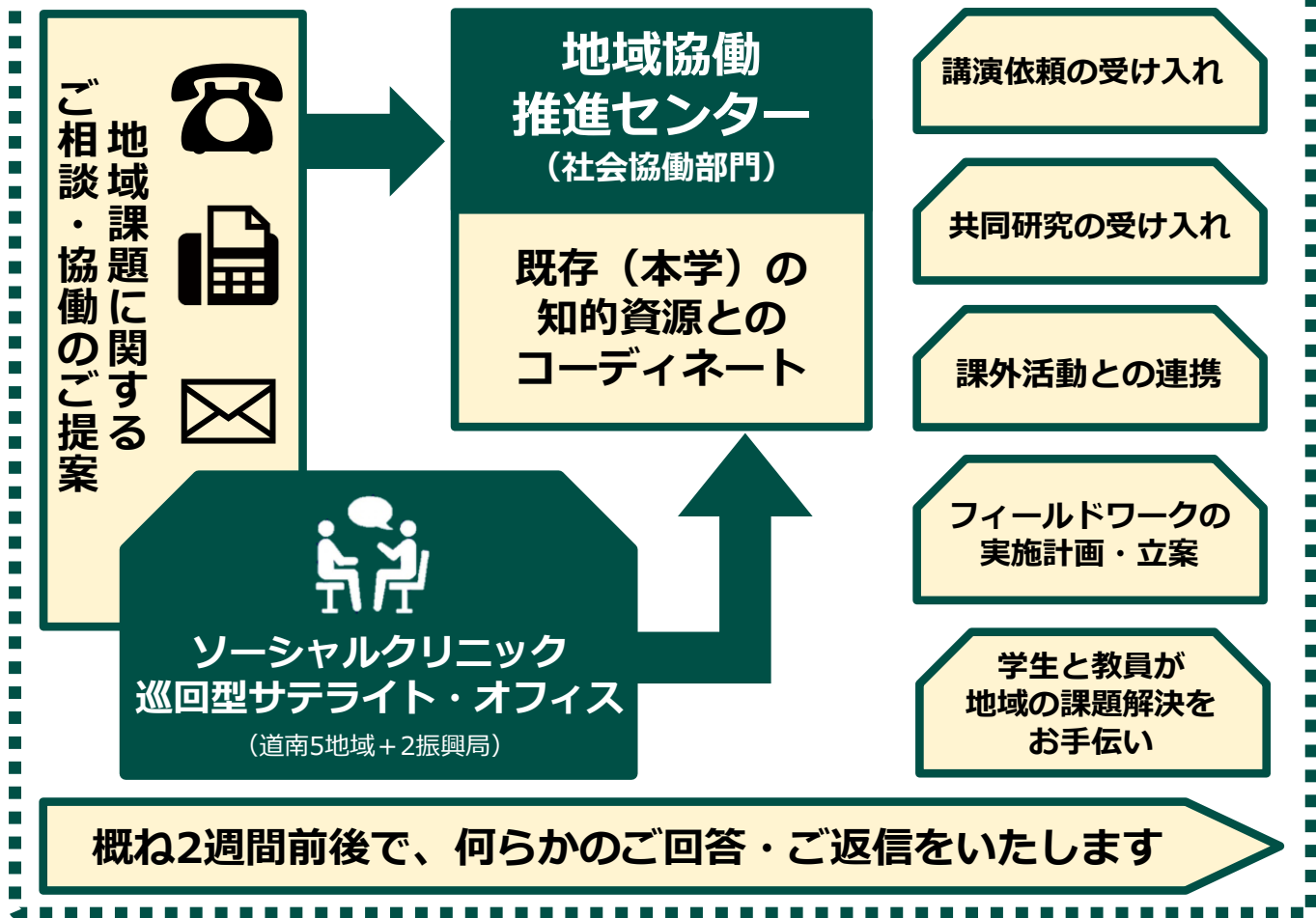
- ◆ Enjoy Study プロジェクト ~協力の王様を目指そう~
- ◆ Enjoy Study プロジェクト ~いっしょにあそぼう いっしょにまなぼう~
- ◆ Enjoy Study プロジェクト ~みんなで楽しくLet's dance!!!~
- ◆ Enjoy Study プロジェクト ~うごいて はなして ココロもからだもポッカポカ~
- ◆ 幼児の遊びの中の「学び」の発見プロジェクト
- ◆ 万年橋小 寺子屋プロジェクト
- ◆ 特別なニーズのある子どもの余暇支援プロジェクト (2022)

地域プロジェクト III・IV

- ◆ 外国にルーツを持つ児童への遠隔と対面による日本語学習支援プロジェクト

地域と大学との協働体制構築イメージ

ご相談・ご提案～本学での検討～ご回答までのプロセス



地域と大学との協働開始までの流れ

① 電話・FAX・E-mailあるいは巡回型サテライト・オフィスにおいて、地域課題に関するご相談・協働のご提案をいただきます。

→ 地域協働推進センター窓口担当 (函館校総務グループ)
☎ 0138-44-4206 📠 0138-44-4380
✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

② 本学地域協働推進センターが、既存の知的資源 (教員・研究・授業等) や課外活動等との調整を行います。

③ 概ね2週間をめぐり、皆様のニーズにどのようにおこたえする事が可能か、ご回答・ご返信いたします。

④ 担当者同士で、具体的な協働の目的・内容・方法・期間等について協議を重ねていただきます。

⑤ 地域と大学による取組を開始します。

いずれかのタイミングで、巻末の「地域協働・協力ご相談シート」をご提供いただくことがあります。

教員紹介

Keywords

数学 代数幾何学 はこだて国際科学祭



青木 昌雄 (あおき・まさお)

【専門分野】 代数幾何学

【担当科目】 数学入門(代数)・代数学基礎・幾何学 I など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●中学校・高等学校における数学教育 ●「はこだて国際科学祭」での企画 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●数学を楽しむためのワークショップ など	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

数とは何だったのか ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概要】

世の中にはたくさんの数があふれています。紙と鉛筆、あるいは電卓やコンピュータを使えば、どんな大きな数でも正確に計算できる、と私たちは信じています。しかし、見たこともないような大きな数の計算結果は、本当に正しくできているのでしょうか。それを確かめるには、数とは何か、計算とはどういうことかをゼロから(0という数から)考え直す必要があります。当たり前のように思っていることを、なぜ、どうしてと問いかけることが数学への第一歩です。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 講師

【所属学会】 日本数学会

【主な研究テーマ】

- 代数幾何学におけるモジュライ理論
- 代数スタック上の直線束の研究

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- サイエンス・サポート函館運営委員
(はこだて国際科学祭の企画・運営)

など

Keywords

教員養成 障害者教育 技能指導 など



阿部二郎 (あべ・じろう)

【専門分野】 教科教育学(産業教育学) 教員養成教育 など

【担当科目】 教職論(初等) 小学校教材研究演習 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●講演(表演付き) 老人大学、成人大学など、各教育委員会主催の生涯学習活動での講師 ●実技指導 小学校や児童館、社会教育機関主催の「マジック体験教室」での表演と実技指導 ●幼稚園教諭の指導技能研修会講師(知的好奇心を喚起する手品の内容の指導技能研修会) など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●災害復興支援ボランティア活動等の側面支援活動 ●小学校や児童館や地域文化活動拠点での子ども達の諸活動に対する教育的支援活動 ●学校やPTA活動に対する、教育活動経験者としての支援活動 など	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

講演 人間の心理とトリック「人はなぜ騙されるのか(実演付き)」 実技指導 マジック及び他者に対するマジックの指導技能研修会	【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input checked="" type="checkbox"/> 教員・ <input type="checkbox"/> その他(福祉関係者)
--	---

【概要】

講演 「騙されまいという努力行為の限界」について、実演を交えて啓蒙・啓発的に講じる。

実技指導 子供対象(幼、小、中、高)の「生涯学習としてのマジック体験教室」

実技指導 一般人対象の「生涯学習としての奇術講座」/教員対象の知的好奇心を喚起する手品の内容の指導技能研修

【その他】 20年近く、幼稚園児から一般社会人、高齢者に至るまで、様々な年齢層を対象とした実践経験を持ちますので、多様な形式での講演・体験学習・実技指導演習の要望に対応可能です。日程の許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校)国際地域学科 地域教育専攻・教職大学院 兼務 准教授

【所属学会】 日本教育学会 日本産業技術教育学会 日本教育方法学会 日本教師教育学会 日本教科教育学会 など

【主な研究テーマ】

- へき地(離島)における正規の教育職員免許状所持者の配属実態について
- 初等教育課程における農業教育実践の動向
- 耐教師性の高い教材の開発(図画工作、特別支援教育の作業学習)
- 技術教育史、教育内容(技術教育)・教育方法(アクティブラーニング)の検討、NIEなど

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 老人大学、成人大学など、各教育委員会主催の生涯学習活動などの講師 / 道新文化センター(函館)講師
- 災害復興支援コンサート活動支援(リガリコンサートの支援)
- 小学校や児童館や地域文化活動拠点でのマジック体験教室の開催(児童館、市立小、旧亀田福祉センター主催体験教室、椴法華教育事務所主催体験教室など)
- 学校活動やPTA活動に対する、教育活動経験者としての活動支援(旧軍川小学校運動会、田植活動のお手伝い)

など

Keywords

地域のくらしと文化 教育開発 など



有井 晴香（ありい・はるか）

【専門分野】 国際社会学 アフリカ地域研究 など

【担当科目】 開発社会学Ⅰ～Ⅱ 社会調査の基礎 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	●地域の文化資源に関する調査研究 など	●地域の生活ニーズ調査およびその支援 ●地域の世代間交流・国際交流活性化を目的とした拠点づくり支援 など	

教員が提供可能な講演・講義例

アフリカに学校を建てよう？ ほか

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他（ ）

【概要】

「アフリカの貧しい子どもたちのために学校を建てよう！」こんなフレーズを目にしたことがある人は少なくないと思います。しかし、アフリカの子どもたちは本当に「貧しい」のでしょうか？どれくらいの子どもの学校に行けていないのでしょうか？アフリカの人びとにとって学校とはどのような場所なのでしょうか？アフリカ各国の学校をとりまく状況を紹介します。国際教育協力のあり方について考えます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 講師

【所属学会】 日本文化人類学会 日本ナイル・エチオピア学会 日本アフリカ学会 日本比較教育学会

【主な研究テーマ】

- アフリカ農村における女性のライフコースと教育開発
- アフリカ農村における子どもの遺棄と保護

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 日本ナイル・エチオピア学会 評議員

など

Keywords

アメリカ 政治 外交 安全保障 宗教 など



飯山 雅史 (いいやま・まさし)

【専門分野】 国際関係論 政治学 地域研究 マスコミ

【担当科目】 北米政治外交論 日米関係論 現代北米事情 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●アメリカ政治、大統領選挙、日米関係に関わる講演 ●函館とアメリカの交流に関する活動 ●マスコミ、メディアと世論形成に関して講演 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●講演会実施 など	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

国際ジャーナリズム ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概要】

世界各地に飛んで戦争と平和の現場を目撃し、世界に伝える国際ジャーナリスト。その仕事の意義と魅力を、元新聞社の海外特派員だった教授が語ります。国際ジャーナリストを目指すためには、大学で何を学ぶべきなのか、ポイントもじっくりと伝えましょう。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本国際政治学会 アメリカ学会 アメリカ政治研究会

【主な研究テーマ】

- 現代米国政治のイデオロギー対立における宗教的要因
個人研究
- アメリカにおける宗教と政治
- 米現代政治と日米関係

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 各種企業研修会などで講演「ニュースが100倍面白くなる国際政治学」
- 読売テレビの情報番組「ミヤネ屋」でレギュラーコメンテーター

など

Keywords

発達障害 心理アセスメント など



五十嵐 靖 夫 (いがらし・やすお)

【専門分野】 特別支援教育 障害児心理

【担当科目】 障害児心理入門 障害児心理アセスメントなど

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の発達障害児の保護者への教育相談 ●発達障害児への指導に関する教育相談や学校へのコンサルテーション ●地域の特別支援教育コーディネーターのネットワーク作りの支援 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●発達障害児への学習支援（大学での学習指導） ●小中学生を対象とした学びの応援プロジェクト「教育大で学ぼう」 など 	

教員が提供可能な講演・講義例

発達障害の理解と支援 ほか

【対 象】一般・中高生・教員・その他（ ）

【概 要】

自閉症スペクトラム（ASD）、学習障害（LD）、注意欠如/多動性障害（ADHD）など発達障害の子どもの心理特性を理解し、適切な指導を行うために必要と思われる基礎的な内容について概説する。さらに、事例を通して発達障害の子どもの行動を心理的、教育的な視点から解釈し、個に応じた指導について考える。

【その他】専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）キャンパス長 国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 日本特殊教育学会 日本発達障害学会 日本LD学会 日本K-ABCアセスメント学会

【主な研究テーマ】

- 学習において特別な支援を必要とする児童・生徒の指導方法について
 - 発達障害児の学習の困難に対して、心理アセスメントを活用して認知特性を把握し、その結果に基づいた指導方法について（事例研究）
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市サポート委員会 委員長
 - 渡島教育局管内専門家チーム 座長
 - 渡島教育局管内特別支援連携協議会 委員
 - 檜山教育局特別支援教育体制専門家チーム 委員長
 - 檜山教育局管内特別支援連携協議会 委員
- など

Keywords

算数科授業研究 国際教育協力 など



石井 洋 (いしい・ひろし)

【専門分野】 算数・数学教育 国際教育協力 など

【担当科目】 初等算数科教育法 国際教育協力論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	<ul style="list-style-type: none"> ●算数・数学科における校内研究の研究協力（教材研究や1人1台端末の効果的な活用について） ●国際協力の講話や開発教育、ESD(持続可能な開発のための教育)のワークショップ <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●算数授業における1人1台端末の効果的な活用についての支援 ●児童にとって身近で楽しい函館地域に関する算数問題を作成中。児童の学力向上を図るとともに、地域への愛着をもたせる問題の提供が可能 <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

国際教育協力の現状

【対象】 一般 · 中高生 · 教員 · その他 ()

【概要】

青年海外協力隊として2度の国際教育協力経験の内容（ブータン王国、ザンビア共和国）や、短期専門家として関わっていたサモア独立国の国際教育協力の現状をお話します。現在、日本の国際教育協力では、理数科の授業改善に関わる技術協力プロジェクトが世界各地で実施されています。多くの開発途上国では、教育へのアクセスが達成され、次なる目標として教育の質的改善に向けた動きが活発化しています。本講義では、開発途上国も注目している日本の算数・数学教育の特徴やその質の高さ、そして開発途上国の教育の現状や課題、それを克服するための国際教育協力の在り方などを解説します。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 全国数学教育学会 日本数学教育学会 日本教師教育学会 国際開発学会 開発教育協会（DEAR）

【主な研究テーマ】

- 開発途上国における数学科授業研究の内発的発展に関する研究
 - 算数科における教科横断的な学習に関する研究
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- JICA 課題別研修「初等算数教授法」コースリーダー
 - JICA「サモア独立国初等理数科教育における問題解決型授業の展開」短期専門家
- など

Keywords

英語科教育 異文化理解 国際理解教育



石 森 広 美 (いしもり・ひろみ)

【専門分野】 国際理解教育 英語科教育

【担当科目】 初等外国語科教育法 国際理解教育 など

お問合せ ☎ 0138-44-4278 ✉ ishimori.hiromi@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●国際理解教育や地球市民教育、SDGsに関する講演やワークショップ ●シンガポールの教育に関する講演 ●南米音楽フォルクローレの演奏と解説 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●SDGs達成に向けた探究学習活動 ●多文化共生社会の実現に向けた活動 ●子どもへの異文化理解を促す活動 ●多言語活動の体験講座 など	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

世界の中の私たち ほか

【対 象】 一般 中高生 教員 その他 ()

【概 要】

グローバルなものの見方を知ること、日常を違う視点から見るができるようになります。シンガポールで3年の滞在歴がある他、海外渡航歴が豊富で、JICAなど様々な国際関係機関と連携して活動してきたことや教育現場（高校）で長年教鞭をとってきた経験を踏まえ、校種・年齢問わず、ワークショップや講演に加え、探究学習等のお手伝いもお引き受けします。さらに、中南米民族音楽フォルクローレの演奏もできますので、お話とミニコンサートなどを組み合わせての講演もお引き受けできます。ニーズに合わせてアレンジが可能です。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 函館校 国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 日本国際理解教育学会 日本グローバル教育学会 小学校英語教育学会 日本学校教育学会 ほか

【主な研究テーマ】

- グローバル・シティズンシップ教育 地球市民教育
- 異文化コミュニケーション
- 英語教育における国際理解教育
- 小中高の英語教育の接続と連携

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 小学校における多言語活動・外国語活動講師
- JICAカンボジア教員養成大学への国際教育協力
- JICA教師海外研修ファシリテーター・講師
- 教員のためのSDGs／探究学習ワークショップ講師

など



伊藤 美紀 (いとう・みき)

【専門分野】 日本語教育学 外国語教授法

【担当科目】 日本語教育学 | 日本語教育法 | など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 観光案内版や展示物のやさしい日本語版作成 ● その他の各種やさしい日本語の活用に関する支援・助言・講習会 ● 日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒支援および支援のための情報提供・助言・学校訪問・オンライン相談・研修講師 ● 日本語指導や言語教育のためのICT活用 など 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 案内版や展示物のやさしい日本語への書き換え ● その他の各種やさしい日本語版の作成 ● 日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒の日本語支援 ● 言語教育のためのICT活用 ● やさしい日本語と自動翻訳の活用 ● オンライン交流会の実施 など 	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

日本語教育からみる世界と地域／やさしい日本語入門

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概要】 日本語教師という職業を通して世界や地域を見てみます。世界や地域における「やさしい日本語」の活用例をみることで、これからの多文化共生社会について考えるきっかけにもなればと思います。

【その他】 一般、専門職向けから、小中学校・高校での授業など、多様なニーズに対応しています。上記の他にも「日本語教育入門」「日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒の支援」「やさしい日本語活用入門」「ICTを活用した外国語指導例」「Jamboardを使ってみよう」等がありますが、これらにも限りません。どうぞご相談ください。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 公益財団法人日本語教育学会 大学日本語教員養成課程研究協議会 函館日本語教育研究会

【主な研究テーマ】

- 日本語母語話者を支援するためのやさしい日本語の活用に関する研究
- 観光用展示物等のやさしい日本語への書き換えをとおした日本語母語話者の学びに関する研究
- 外国語教育のためのICT活用に関する研究
- 外国語教師教育のためのICT活用に関する研究
- 言語政策に関する研究 など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 公益財団法人日本語教育学会 研究集会地区委員・支部活動委員（2013.7～2019.6）
- 大学日本語教員養成課程研究協議会 理事（2021.6～現在に至る）
- 北海道教育委員会帰国・外国人児童生徒等教育推進事業運営協議会 運営委員・アドバイザー：学校訪問支援、研修講師（2017.7～現在に至る） など

Keywords

法の経済学的な分析 法の哲学 など



伊藤 泰 (いとう・やすし)

【専門分野】 法哲学

【担当科目】 現代地域教養Ⅱ (法哲学) 日本国憲法 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	<ul style="list-style-type: none"> ●法教育 その他、法にかかわることであれば、ご相談ください。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●法教育プロジェクト <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

「平等」について考える ほか	【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ()
----------------	---

【概要】

現代社会は自由や平等を基調としていますが、そもそも「平等」とはどういうことなのでしょう。具体例をもとに考えてみましょう。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授


【所属学会】 法哲学・社会哲学国際学会連合 (IVR) 日本法哲学会 公共選択学会 日本公法学会

【主な研究テーマ】

- 公共選択論 個人研究
 - 法秩序のゲーム論的モデル化 個人研究
- など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 函館地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会委員
 - 函館市個人情報保護審査会 委員
 - 函館市公文書公開審査会委員
- など

Keywords		教育倫理学 教育哲学 道德教育 など	
	奥田秀巳（おくだ・ひでみ）		
	【専門分野】	教育倫理学 教育哲学 など	
	【担当科目】	教育の基礎と理念 教育の哲学 道德の理論と指導法 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4206	✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp
地域協働可能なテーマ・取組例			
教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●学校における信頼関係に関する研究 ●教育現場における倫理的な問題に関する研究 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●左記に同じ など	学生たちと
	教員が提供可能な講演・講義例		
教育ってなに？ ほか		【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・教員・その他（ ）	
【概要】 <p>私たちは誰しも「教育」という言葉を知っていますし、どこかで「教育」を受けたことがあるでしょう。しかし、その「教育」という営みが何であり、なぜ行われているのか、あらためてじっくり考えたことのある人は少ないかもしれません。本講演・講義では参加者の方と一緒に、誰もが知っているはずの「教育」という営みについて、「人間」という存在について考えることを通して、もう一度考えなおしてみます。</p>			
【その他】 中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、ご相談ください。可能な限り対応いたします。			
研究者情報			
【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 准教授 【所属学会】 日本倫理学会 日本道德教育学会 日本道德教育方法学会 など			
【主な研究テーマ】 ●教師と児童・生徒の間の教育的関係に関する研究 ●安心して対話できる空間づくりに関する研究 ●道徳科における内容項目の倫理学的研究 ●哲学対話・対話型鑑賞における学びの構造に関する研究 など		【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】 ●教員免許更新講習講師 ●学校と道德教育（SAME）研究会 コメンテーター ●富山県高等教育機関リカレント教育推進事業（アート思考、哲学的思考、デザイン思考に関する講義）講師 など	

Keywords

まちあるきガイドと観光 観光とまちづくり など



奥平 理 (おくだいら・おさむ)

【専門分野】 観光学・観光地理学 など

【担当科目】 地域政策概論Ⅲ (観光学入門) 地域政策概論Ⅳ (国際観光論) まちづくり論
観光産業論 地理学概論 観光コンシェルジュ実習Ⅰ・Ⅱ など

お問合せ ☎ 0138-44-4303 ✉ okudaira.osamu@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の観光振興に関する調査・研究・分析 (北海道新幹線開業による経済効果) ●観光まちあるきガイド育成事業 (函館市観光ボランティアガイド育成事業) ●観光振興・まちづくり・経済効果に関する講演 (講演回数:100 回超) <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種団体主催の観光関係イベントに参加・協働 ●各種団体主催のまちづくり関係イベントに参加・協働 ●「学生観光ボランティアガイド」の組織化と運営支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

地域振興と地域連携-津軽海峡圏- ほか	【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input checked="" type="checkbox"/> 教員・その他 ()
---------------------	--

【概 要】

津軽海峡圏 (津軽海峡をはさんだ渡島半島南部-青森県) は歴史的にみて、交通手段の発達によりその交流を変化させてきました。そして北海道新幹線の開業で函館-青森間は約1時間で行き来できるようになりました。こうした変化が津軽海峡圏の地域に与えるさまざまな影響 (例: 観光) を分析することから、より活発な交流を生み出す方をわかりやすく、具体的に解説します。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 日本観光学会 日本地理学会 北海道地理学会 函館人文学会 学校教育学会 ほか

【主な研究テーマ】

- 観光 (ボランティア) ガイド活動による地域活性化の事例 -津軽海峡圏-
 - 日本とカナダの観光地におけるクルーズ船寄港による観光・ビジネスの拡大と地域活性化
 - 道南・函館における観光イベントの運営形態と学生参加の可能性
- など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 国土交通省函館開発建設部管内協働型道路マネジメント会議委員長 (H27. 2~)
 - 津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議委員 (アドバイザー) (R3. 4~)
 - 函館市観光アドバイザー会議議長 (H26. 4~)
 - 函館市生活交通協議会会長 (H27. 10~)
- など

Keywords

衛生学・公衆衛生学 疫学・予防医学 など



金子 信也 (かねこ・しんや)

【専門分野】 衛生学・公衆衛生学 疫学・予防医学 教育学 など

【担当科目】 衛生学・公衆衛生学 精神保健学 養護総合演習 など

お問合せ ☎ 0138-44-4350 ✉ kaneko.shinya@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	●生活支援整備に関する調査研究・支援 など	●要望があればご相談下さい。 など	

教員が提供可能な講演・講義例

あなたの性格を振り返ってみませんか ほか	【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他 ()
----------------------	---

【概 要】 私たち一人ひとりが持っている性格を分析してみましょう。これまでの性格を振り返ることで、これまでの自分を確認出来ることに加え、新たな自分との出会いや、人間理解への興味が喚起されるかもしれません。
※人格と個人の成長および変化に関わる体系的な心理療法の理論である交流分析に基づいた性格分析を実施し、これまでの性格の再確認と新たな自分との出会い、そして人間理解への興味喚起を意図するものである。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）養護教諭特別別科 教授	
【所属学会】 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本公衆衛生学会 日本リスクマネジメント学会 など	
【主な研究テーマ】	【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】
●養護教諭特別別科生の精神健康調査 ●中小企業経営者の心身健康調査 ●東日本大震災被災者の精神健康とリスクマネジメント など	●高槻市自殺対策連絡協議会委員 ●未来のトラック研究会研究員 ●日本リスクマネジメント学会 AMAROK Japan 主任研究員 など

Keywords

実行機能 発達障害 知的障害 など



北村博幸（きたむら・ひろゆき）

【専門分野】 特別支援教育 障害児教育 障害児心理 など

【担当科目】 知的障害教育課程論 発達障害児指導法入門 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●発達障害のある幼児・児童・生徒の支援・研究 ●特別支援学級及び特別支援学校における研究の支援 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●発達障害のある幼児・児童・生徒の支援・研究 など	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

学校の中で苦戦している子どもの支援 ほか	【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ）
----------------------	--

【概要】

学校の中には、学習面・行動面・対人関係面で苦戦をしている特別な配慮を必要とする子どもがたくさんいます。苦戦している子どもの支援のためには、①子どもが苦戦の原因を探り（アセスメント）、②子供が持つ強い部分を活用して（ストレングス・オリエンテッド）、③関係する大人がみんなで（チームアプローチ）支援することが必要です。

地域の中で、みんなで、子どもを育てることの可能性について考えます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 日本特殊教育学会 日本LD学会 日本発達障害学会 日本K-A-B-Cアセスメント学会 など

【主な研究テーマ】

- 知的障害教育の授業改善の研究
- 発達障害のある幼児児童生徒の認知特性に応じた支援方法の研究
- 実行機能のアセスメントと支援の研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道教育局専門家チーム及び特別支援連携協議会
- 北海道及び青森県教育委員会初任者及び経験者研修
- 北海道教育委員会免許法認定公開講座
- 北海道教育委員会教員免許更新講習

など

Keywords

理科教育 地学 古生物学 地球環境 など



紀 藤 典 夫 (きとう・のりお)

【専門分野】 地質学 古生物学 第四紀学 生態・古環境 など

【担当科目】 地球科学基礎 地球環境史 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	●地域の地質学・古生物学に関する調査・研究 など	●地域の地学や自然の観察・学習会 ●理科クラブ・地学クラブなどの研究の支援 など	

教員が提供可能な講演・講義例

ブナの森の歴史 ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概 要】

今から1万年ほど前の地球は、ヨーロッパや北米に厚い氷河が発達する氷河時代でした。日本でも、寒冷な気候のもと、北海道や東北地方の山地には、寒冷地の針葉樹林が広がっていましたが、現在では美しいブナの森が広がっています。そのブナは、氷河時代の寒い時期には、南の地方に逃れていたと考えられますが、どのようにして現在のような分布域を形成するに至ったのか、化石や遺伝の証拠から解説します。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授

【所属学会】 日本第四紀学会 地学団体研究会 日本古生物学会 日本植生史学会 日本生態学会

【主な研究テーマ】

- 第四紀の植生の変化の歴史
- 道南のブナの森の形成史
- 気候の変化と植生の変化の関係

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- ジオフェスティバル in HAKODATE
- 青少年のための科学の祭典●

など

Keywords

民事法学 法教育 根抵当制度 など



金 鉉 善 (きむ・ひよんそん)

【専門分野】 民事法学 法教育

【担当科目】 民法 日本国憲法 倫理・人権 など

お問合せ ☎ 0138-44-4316 ✉ kim.hyunsun@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●われわれの生活に密接に関連する私法教育（民法等）について研究・支援 ●多文化共生社会の実現のために法教育を支援（子どものための法教育、外国人のための法教育など） など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●人形劇による「子どもに対する法教育プロジェクト」 ●「多文化共生社会実現プロジェクト」外国人と受け入れ側が共に考える場づくりー法教育の観点からアプローチ など	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

多文化共生社会の実現
ー法教育の観点からアプローチ

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他（ ）

【概 要】

グローバル化に伴い、「情報」「モノ・カネ」「ヒト」の移動が激しくなり、その変化の中で、私たちは、ほかの人々と共に生活をしています。他人同士が、気持ちよく、生活をするためには、一定の法（ルール・きまり）が必要です。その法・ルール・きまりは、「誰が決めるのか?」「誰のためにあるのか?」について法教育の観点からアプローチします。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 日本私法学会 日本土地法学会 比較法学会 中四国法制学会 北海道教育大学函館人文学会 など

【主な研究テーマ】

- 法教育 個人研究
- 根抵当制度の研究 個人研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市地球温暖化対策地域推進協議会 委員

など

Keywords

ジェンダーと教育 教員社会 など



木村育恵（きむら・いくえ）

【専門分野】 教育社会学 「ジェンダーと教育」研究

【担当科目】 ジェンダー論 教育の社会学 学校文化論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●ジェンダー平等、男女共同参画、多様な性に関する理解促進等の支援・連携 ●ジェンダー・多様な性に関する教育、教員のキャリア形成におけるジェンダー平等課題についての支援・連携、研修会開催 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●ジェンダーと教育、多様な性、教員のキャリア形成におけるジェンダー平等課題等についての調査研究の支援 ●学校教育とジェンダー、LGBT、SOGIに関する理解促進のための活動、研究発表の支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

共生社会とジェンダー ほか

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他（ ）

【概要】

学校生活やカップル関係など私たちの日常を、普段とは少し違う「ジェンダーに敏感な視点」からとらえ直してみると、何がみえてくるのでしょうか。「ジェンダーに敏感な視点」とは、性別にまつわる「当たり前」を見つめ直す重要な視点です。現代社会において、ひとづきあいや行動パターン、社会構造などを「ジェンダーに敏感な視点」からとらえ直すことは、社会に埋め込まれた差別や偏見に敏感に反応していく感覚や、他のひとがおかれた立場に対する想像力を育むことにつながります。多様性と向き合う知識や視点を持って豊かに生きていくための課題を、ぜひ一緒に考えてみましょう。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 国際ジェンダー学会 日本教育社会学会 日本教師教育学会

【主な研究テーマ】

- ジェンダー平等をめぐる教員研修のあり方に関する研究
 - 学校管理職・教員のキャリア形成における政策的・実践的課題に関するジェンダー研究
 - 多様な性やジェンダー平等教育実践に関する研究
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市男女共同参画審議会 委員
 - 文部科学省委託「次世代のライフプランニング教育推進事業（男女共同参画の推進に資する教員研修プログラムの開発に向けた調査研究）」検討委員会 委員
- など

Keywords

多様性 カナダ ケベック 地域政策 など



古地 順一郎（こち・じゅんいちろう）

【専門分野】 政治学 移民・多文化共生政策 カナダ研究

【担当科目】 地域政策概論 市民社会論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●多様性を活かした地域づくり ●多文化共生政策に関わる調査・助言 ●国際交流活動 ●カナダ・ケベックに関わる活動 ●市民協働に関わる調査・助言 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●政策立案に関わる調査の支援 ●多文化共生政策の立案・実施に関わる支援 ●LGBTQ+とまちづくり <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

地域政策学へのとびら
—政策を学ぶ意味を考える—

【対象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概要】

人口減少が本格的に進む縮小社会において、政策や政治が持つ意味はますます大きくなっています。本講義では、なぜ政策や政治を学ぶ必要があるのかを考えます。

【その他】

カナダや多文化共生に関する講義も提供可能です。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 日本カナダ学会 日本ケベック学会 移民政策学会 日本政治学会 日本比較政治学会 など

【主な研究テーマ】

- カナダの移民政策、統合政策、多文化共生政策
 - カナダの地域政策
 - カナダ政治、ケベック州政治
 - 多様性を活かした地域づくり
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 江差町総合計画等検証委員会 副委員長
 - 江差町第6次総合計画策定審議会 副会長
 - 江差町総合戦略検証委員会 委員長
 - 函館・ハリファックス協会 会長
 - レインボーはこだてプロジェクト メンバー
- など

Keywords

文学の魅力 読書の楽しみ 現代文の読み方 など



小林 真 二 (こばやし・しんじ)

【専門分野】 日本近現代文学

【担当科目】 日本近現代文学史 物語文化論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●日本近現代文学に関する企画・活動等 ●道南の近現代文学に関する調査・研究・まちおこしへの活用等 ●道南地域の文学館・図書館等の活性化 ●中・高の現代文（特に小説）の指導に関する研究会・研修会への協力等 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●ウィキペディア執筆・編集ワークショップ（ウィキペディアタウン）支援 ●学生による「お笑い」出前活動（交流活動に基づく「お笑い」実演） ●地域や学校の読書活動推進（例：POP・帯作成ワークショップの企画・実施） 	学生たちと
	など	など	

教員が提供可能な講演・講義例

モダン
函館不良文学への誘い ほか

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（図書館関係者）

【概 要】

函館を代表する作家といえば、石川啄木・・・では本来決していないのだと、亀井勝一郎は断言しています。真に函館らしい文学を生んだのは、長谷川海太郎（谷譲次、林不忘、牧逸馬）、久生十蘭、水谷準という3人の作家——亀井が父から真似をするなど堅く戒められた不良（モダン）な先輩たちでした。本講義では、知られざる3人の文学の魅力について、地元資料や代表作に沿ってわかりやすくお話しいたします。

【その他】時間的に余裕があれば、POP作成ワークショップと組み合わせて実施することも可能です。中高生や教員を対象とした、現代文教材の読み方・教え方に関する講義や研究会なども大歓迎いたします。日本近現代文学関連であれば何なりと、ひとまずご相談願えれば幸いです。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本近代文学会 昭和文学会 坂口安吾研究会

【主な研究テーマ】

- 坂口安吾の文学・思想
- 近現代日本文学
- 近現代日本の笑い
- 大正期函館のモダン文学

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市教育委員会・図書館協議会委員
- FMいるか「読んで面白い文学案内」パーソナリティー
- 高文連道南支部大会講演「小説の魔術師・久生十蘭——反転と抑制の美学」講師

など

Keywords

国際企業 水産加工業 外国人労働者政策 など



孔 麗 (こん・りー)

【専門分野】 中国経済経営 アジア経済 国際企業

【担当科目】 アジア経済論 国際比較企業論 経済学特論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 過疎地域の労働力確保に関する支援活動 ● 外国人単純労働者の受入れに関する支援活動 ● 日中経済交流の支援 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 外国人労働者に対する地域としての支援 	学生たちと
	など	など	

教員が提供可能な講演・講義例

「ユニクロ」はいかにして
グローバル企業になったのか ほか【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概要】

「ユニクロ」といえば、若い人なら誰でも知っているお店ですが、現社長が父親から経営を引き継いだときは、山口県宇部市の紳士服を安く販売する中小企業にすぎませんでした。それが今や、中国をはじめとするアジアを中心に、衣料品を製造し、日本はもとより世界中に店を出すグローバル企業に成長しています。そこにはどのような経営戦略があったのでしょうか。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 中国経済経営学会 北日本漁業経済学会 企業家研究フォーラム アジア政治経済学会 経営戦略学会等

【主な研究テーマ】

- 道南地域の水産加工業の現状と課題
- 外国人労働者政策
- 渡島地域における海外展開企業の経営戦略

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 国際ロータリー米山奨学生学友会 会員
- 北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員
- 北海道開発協会外国人材の受入れに関する研究会 委員
- 内閣府青年国際交流事業「日本・中国青年親善交流研修会」研修講師

など

Keywords

健康な地域づくり 地域の互助体制づくり など



齋藤 征人 (さいとう・まさと)

【専門分野】 地域福祉・ソーシャルワーク

【担当科目】 ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳ など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●生活支援体制整備事業に関する研究等（聞き取り調査）・助言・支援 ●既存の地域資源を活用した地域コミュニティ拠点づくりに関する研究・支援 ●学校における課題探求型学習に関する助言・支援 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●地域の生活ニーズ調査及びその支援 ●サードプレイスを拠点とした社会貢献活動促進支援 ●「まちづくりカフェ」「地域づくり支援実習」等による地域づくり支援 ●社会福祉士国家試験受験支援 	学生たちと
	など	など	

教員が提供可能な講演・講義例

自分のできるコトで誰かのためになれるまちづくり ほか	【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ）
----------------------------	---

【概要】

生活スタイルや価値観の多様化によって、地域コミュニティが無縁化しつつあるといわれています。他方、住民同士がつながりを実感できる地域コミュニティ再生への試みも、各地で始まっています。

本講義では、多様な主体による「おたがいさま」の地域づくりの魅力とその可能性について考えます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 日本社会福祉学会 日本地域福祉学会 日本社会福祉士会 日本教育支援協働学会 など

【主な研究テーマ】

- ソーシャルワーカーの実践知形成過程
- 遊休施設を活用した福祉コミュニティづくり
- 地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市地域包括支援センター運営協議会 会長
- 北斗市総合戦略検討・推進会議 会長
- 北斗市地域公共交通活性化協議会 会長

など

Keywords

英語 言語学 認知言語学 英語教育

	佐々木 昌太郎（ささき・しょうたろう）	
	【専門分野】 英語学 認知言語学（認知文法） 英語教育	
	【担当科目】 英語学概論 I & II、英語語法研究 など	
	お問合せ	☎ 0138-44-4206 ✉ sasaki.shotaro@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●英語教育の現状と課題 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●英語教育の現状と課題 （地域の英語教育の現状を調査し、 課題は何かを考えます）	学生 たち と

教員が提供可能な講演・講義例

心から英語について考える	【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 中高生 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> その他（ ）
--------------	--

【概 要】

言葉は私たちが何気なく使用しているものですが、少し距離を置いて眺めてみると「どうしてだろう」と不思議に思う現象が沢山あります。「認知言語学」と呼ばれる学問を紹介し、英語の事例を取り上げながら、私たちのものの見方や捉え方から言葉の不思議について考えてみます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 函館英語英文学会 日本英語学会 日本認知言語学会 など

【主な研究テーマ】

- to 不定詞に関する認知文法的研究
- 英語の補文の指導法に関する考察

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

現在参加している活動は特にありません。



佐藤 香織 (さとう・かおり)

【専門分野】 言語学 日本語学 日本語教育

【担当科目】 日本語教育学Ⅱ 日本語教育実習Ⅰ～Ⅱ など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●企業・地域での日本語学習支援者養成 ●小中学校教員に対する日本語教育セミナー ●グリーン・ツーリズムや観光における効果的な異文化コミュニケーションの支援 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●海外にルーツを持つ児童・生徒の日本語支援 →地域プロジェクトで現在、支援活動を行っている 	学生たちと
	など	など	

教員が提供可能な講演・講義例

地域に必要な日本語教育とは

【対象】 一般・中高生・教員・その他()

【概要】

地域に日本語教育を必要とする人々、観光で日本を訪れる人々がますます多くなっています。都市部とは異なり、人的リソースが少ない「地域」では、日本語教育や異文化間コミュニケーションについての知見を多くの方々が共有することが、異なる文化・言語の方々との共生社会の基礎となり、地域活性化を推し進めることにつながります。まずどんなことを私たち一人ひとりが考えていくべきか、一緒に考えていきましょう。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校)国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 日本言語学会 日本語文法学会 日本語教育学会 異文化間教育学会 言語政策学会 など

【主な研究テーマ】

- 日本語の補文や補部名詞句の表すイベントと文法的振る舞いとの関係についての研究
- 日本語の数量詞の文法的・意味的振る舞いについての研究
- グリーン・ツーリズムにおける日本語教育
- 日本語教員養成課程における効果的な実習の在り方についての研究

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 日本語ボランティア育成セミナー 講師
- 「日本語学習支援ネットワーク会議 2014 in 青森」の企画・実行
- 秋田にほんごの会
- 文部科学省日本語指導アドバイザー 招聘事業シンポジウム「函館市の子どもの日本語支援を考える」の企画・実行

など

Keywords

ヘルマン・ヘッセ 昔話の国際比較 道南の伝説 など



高橋 修（たかはし・おさむ）

【専門分野】 ドイツ文学 口承文芸学 など

【担当科目】 ドイツ語 口承文芸学 ドイツ文学概論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4269 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	●道南に伝わる「伝説」についての調査・研究 など	左記に同じ	

教員が提供可能な講演・講義例

北海道の義経伝説について

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他（ ）

【概要】

北海道には100を超える義経伝説が伝えられており、2年間「地域プロジェクト」の学生たちと一緒に、色々なことを調べたりまとめたりしてきました。

アイヌの文化神になったという話、アイヌの娘との悲恋の話、再起を期して宝を埋める話、「弁慶岬」といった地名の由来、大陸に渡ったという話、アイヌの宝を盗んだという話等々があり、そこからは、歴史や文化のさまざまな側面の絡み合いが読み取れます。このような伝説を展望することによって、北海道という土地の歴史と文化についての視野を広げるきっかけが得られればと思います。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本昔話学会 日本独文学会 函館英語英文学会 函館人文学会 北海道ドイツ文学会

【主な研究テーマ】

●ヘルマン・ヘッセ研究 個人研究

●口承文芸研究 個人研究

など

Keywords

ことばの意味の分析 やさしい日本語の活用 など



高橋圭介（たかはし・けいすけ）

【専門分野】 日本語学（意味論・文法論） など

【担当科目】 外国語としての日本語 日本語教育文法Ⅰ～Ⅱ など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公的文書・掲示物などを対象とした「やさしい日本語」への書き換え支援 ●防災・減災のための「やさしい日本語」の活用 ●ことばに関する実態調査（誤用や地域方言、若者ことばに代表される新規性の高い表現などを対象とした調査） <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民や観光客を対象とした、方言に関する意識調査 ●外国人観光客に向けた、「やさしい日本語」による観光用展示物の書き換え ●「ことばカフェ」（日頃ことばについて抱いている関心事、疑問点について、参加者で議論するイベント）の開催 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

ことばの意味を考える

【対象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概要】

ことばの意味が持つさまざまな性質について、実際の分析を通して考えていきます。具体的には、類義語間の意味の違い、多義語が表す複数の意味の区分、通常の日本語から「やさしい日本語」への書き換え、などについて参加者に議論してもらい、そこで出た結果に基づいてさらに考察を深めていきます。普段あまり考えることのない、ことばの問題に意識を向けることによって、参加者の「ことばに対する気づき」を促すことを意図しています。

【その他】上記の講義は主に中高生を対象としていますが、一般向けにアレンジすることも可能です。また、教育大では日本語教員養成プログラムにも関わっているため、日本語教育とからめた講義も可能です。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 日本語文法学会 日本語教育学会 日本語学会 日本認知言語学会

【主な研究テーマ】

- 現代日本語における類義語および多義語の意味記述とその方法論に関する研究
 - 「やさしい日本語」への書き換えに関する研究
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館日本語教育研究会
 - ヒューマンアカデミー日本語教師養成講座言語学系・日本語学系非常勤講師
- など

Keywords

政治思想 交通思想 路面電車 など



田村 伊知朗（たむら・いちろう）

【専門分野】 政治学・近代思想史

【担当科目】 近代交通思想史・発展ドイツ語・政治学概論

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が共同可能なテーマ・活動例】 ●講演会、座談会 （講演実績：函館日独協会、北斗市教育委員会、函館フェロークラブ、函館東ロータリークラブ、函館横丁倶楽部等） など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●ドイツ語入門講座 など	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

路面電車・北海道新幹線

【対象】 一般・中高生・教員

【概要】

路面電車、とりわけドイツのそれを探求している。動力化された個人交通の進展による都市構造の変容、都市の環境破壊を研究している。

最近、都市の意義を農村から思想的に基礎づけている。農民哲学者、中島正の都市論を討究している。

数十年来、北海道新幹線の意義を研究している。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授

【所属学会】 社会思想史学会 日本政治学会 交通権学会

【主な研究テーマ】

- ヘーゲル左派の社会思想
- 路面電車、新幹線の討究
- 交通と都市構造、交通と環境問題

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館日独協会 副会長
- 函館家庭裁判所委員会 委員

Keywords

ソーシャルワーク 福祉教育 生涯学習 など



外 崎 紅 馬 (とのさき・こうま)

【専門分野】 社会福祉学 地域福祉 福祉教育

【担当科目】 地域福祉論 社会科学入門(社会福祉学) など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●生涯学習・福祉教育に関する調査研究・支援 ●社会福祉・ソーシャルワークに関する理解促進 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●地域の生活課題についての検討及び考察 ●地域課題に関する意識啓発と社会的行動の促進支援 など	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

生活で活かすソーシャルワーク

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概 要】

ソーシャルワークは人を支援するために体系化された専門的知識や技術などのことですが、身のまわりの人間関係や普段のコミュニケーションに活用することで生活環境がより良くなります。

本講義では、日常生活で有用なソーシャルワークについて理解を図ります。

【その他】講演や講義は、演習やグループワークなども取り入れて、聴くだけではなく参加者同士の交流も図りながら進めていきます。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 教授

【所属学会】 日本教育カウンセリング学会 日本社会福祉学会 日本保育学会

【主な研究テーマ】

- 福祉教育の教育内容と教授方法
- 生涯学習としての社会福祉
- 日常生活行動を活用したソーシャルワーク

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 函館市教育委員会 社会教育委員 副委員長
- 函館市福祉のまちづくり推進委員会委員
- 函館市地域福祉計画策定委員会委員

など

Keywords

日本文学 国語科教育 など



内藤 一志 (ないとう・かずし)

【専門分野】 教科教育学 日本文学 国語科教育

【担当科目】 初等・中等国語科教育法 絵本の作品分析 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	<ul style="list-style-type: none"> ●国語科の授業づくり ●全国学力学習状況調査（国語）への対応 ●絵本の作品分析 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学生の国語科の授業サポート ●小中学生の国語科の授業調査 <p style="text-align: right;">など</p>	

教員が提供可能な講演・講義例

<ul style="list-style-type: none"> ●言語活動型の授業をつくる—学力調査問題をヒントにして（2016 檜山管内学力向上サポート研修会） ●国語教科書と絵本—違いから見えてくること—（2017 高文連道南支部図書専門部図書研究部研修会） ●授業改善セミナー（2019—2020 ほっかいどう学力向上推進授業「授業改善支援事業」鹿部小学校） ●主体的に学ぶ力を育成する話し合い活動の姿（2019 北斗市立上磯中学校） 	<p>【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・<input type="checkbox"/> 中高生・<input type="checkbox"/> 教員・その他（ ）</p>
---	---

【概要】主に教員向けとして、国語科の授業づくり全般（書写を除く）について、学校、教育委員会等の求めに応じて講演やワークショップ型の演習を提供できます。

教員だけでなく一般の方や中高生向けにも、絵本について初歩的な作品分析の方法（言葉と絵の相互関係）を用いて講演やワークショップ型の演習を提供できます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 教授	
【所属学会】 日本国語教育学会 日本教科教育学会 読書学会 日本文学協会 全国大学国語教育学会 など	
<p>【主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●明治以降の古典（古文）教育に関する史的研究 ●学力調査対応を図った国語科の授業改善 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全国大学国語教育学会 地区理事 ●日本国語教育学会 地区理事 ●北海道教育委員会や函館市教育委員会が主催する研修 <p style="text-align: right;">など</p>

Keywords

子どもの貧困 子ども虐待 子育て環境 など



中村直樹（なかむら・なおき）

【専門分野】 子ども家庭福祉 社会福祉学

【担当科目】 児童福祉論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●子どもや家庭の福祉に関する催し等 ●子どもや家庭の福祉に関する調査・研究 ●子どもや家庭の福祉に関する活動・取り組みの研究・支援 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ●貧困、虐待、社会的養護など多様な子どもたちのことをとことん考えたチャイルド・ファーストな地域づくりの支援 	学生たちと
	など	など	

教員が提供可能な講演・講義例

子どもをめぐる問題の理解と対応 ほか	【対象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ）
--------------------	--

【概要】

私の専門である子ども家庭福祉は、子どもをめぐる問題の解決が基本にあり、そのために大切になるのは問題を正しく理解することです。そこで、私の講演・講義では、子どもをめぐる問題として子どもの貧困、子ども虐待、少年犯罪などの問題について取り上げ、それらを正しく理解することについて学びます。また、それらの問題を解決するにはどのような方法が最善なのかということについても学んでいきます。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 日本社会福祉学会 日本地域福祉学会 日本フォスターケア研究会

【主な研究テーマ】

- 地方都市において展開可能な貧困対策に関する基礎研究
- 学校における児童虐待対応に関する研究
- 子どものレジリエンスに関する研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道子どもの虐待防止協会道南支部 監事
- 「子ども・家族が抱える貧困の実態：学校・教師に問われる子どもの貧困の理解と対応」「児童虐待について：気になる家庭のサイン、発見から対応まで」など講演多数

Keywords

人権・平和 日韓問題 国際人権 など



河 鍊 洙 (は・よんす)

【専門分野】 国際協力 国際法 国際人権

【担当科目】 国際機構論 国際人権論 国際法 など

お問合せ ☎ 0138-44-4256 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海洋環境保護・保全に関する国際協力 ● 国際紛争の解決のための国際協力（市民フォーラム等） ● 海洋政策に関する国際協力（漁業・沿岸管理等） <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 函館の国際交流活動の現状と課題について分析・検討 ● 国際交流活動を通じた函館まちづくり支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

国際協力政策・国際交流活動

【対 象】 一般・ 中高生・教員・その他（ ）

【概 要】

現代国際社会の現状を踏まえ、国際協力の意義や課題について考えてみたいと思います。特に、貧困問題や南北問題の現状を把握し、国連やその他の国際機関の機能・役割について、さらに日本（政府）の役割（ODA）や、様々な国際 NGO 活動等を解説します。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 准教授

【所属学会】 国際法学会（日本） 世界法学会（日本） 大韓国際法学会（韓国）

【主な研究テーマ】

- 国際法における国際協力の意義や課題について
 - 生物多様性の保護に関する国際法の動向について
 - 深海底資源の開発をめぐる国際法と、海洋環境の保全・保護
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館地方裁判所及び家庭裁判所委員会委員として活動
 - 在日本大韓国民団函館支部役員として活動
- など

Keywords

美術教育 アートプロジェクト プログラミング教育 など



橋本 忠和 (はしもと・ただかず)

【専門分野】 社会教育(市民教育) 学校教育(教育方法)

【担当科目】 プログラミング教育の実践と課題
初等図画工作 子どもの表現発達とその理解 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の教員・保育者の授業研究の支援 ●ものづくりを軸にした ICT 教育の推進 ●プログラミング教育の導入と推進 ●保・幼・小、異校種連携教育の支援 ●地域連携アートプロジェクト <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域を元気にするアートプロジェクトの創造（地域教育関連機関との連携） ●放課後の幼児・児童の学習支援（造形活動等を通して） ●プログラミング教材の開発 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

ロボットを活用した造形表現活動の
プログラミング教育としての可能性とは

【対 象】 一般・中高生・教員・その他（地域の方）

【概 要】

本講義は「アンプラグドやフィジカル・プログラミング教育」等の観点から幼児の造形表現活動とプログラミング的思考との接点を抽出した自らの先行研究を基に、ロボットの「プログラミング」体験を組み込んだ造形表現活動のプログラミング教育の可能性について実際にロボットを操作することを通して体験的に学ぶことを目的としている。その手法としては、色シールの組み合わせでプログラミングできるロボットを教材に、その動きから発想した「玩具」や「迷路」を作る造形表現活動と小学校のプログラミング教育の手引きが示す「プログラミング的思考過程」やミッチェル・レズニックの学習デザイン・モデル「クリエイティブ・ラーニング・スパイラル」等との接点を体験的に学ぶ内容になっている。

【その他】 主体的・対話的で深い学びの創造と評価 地域を活性化するアートプロジェクトの創造
サルの絵と子どもの絵との違いから学ぶ表現発達理解 幼児期における社会情動的スキルの育成

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教職大学院 及び 教育学部（函館校）国際地域学科地域教育専攻 教授

【所属学会】 大学美術教育学会 美術科教育学会 日本美術教育学会 環境芸術学会 和文化教育研究学会

【主な研究テーマ】

- ロボットを活用したプログラミング的思考の育成
 - 絵本の読み聞かせによる社会情動的スキル育成の可能性についての一考察
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 日本美術教育学会委員 委員
 - 江差の巨大ニシンのぼりの地域活性化アドバイザー
- など

Keywords

地域が主体の経済開発 経済教育 など



島山大（はたけやま・だい）

【専門分野】 応用経済学（地域経済学・経済開発論） など

【担当科目】 地域経済学 経済開発論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が共同可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域経済や地方自治のあり方に関する助言や提言 ● 地域の振興開発や社会経済のあり方に関する市民的实践（調査・研究、議論、提言等）に対する助言や支援 ● 社会科教育・経済教育の研究・実践に関する連携や協力 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域メディアとしての発信（道南地域くらし応援プロジェクトによるミニコミ誌【MIMIZ】の発行等） ● 地域課題に関する調査・提言 ● 地域の市民・学生との意見交換や共同活動への参加 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

グローバル化と地域社会 ほか

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他（ ）

【概要】

経済のグローバル化の中で、地域経済や地域社会はどのような状態に置かれ、地域の市民はどのように課題を設定すべきなのかを研究・教育しています。一般論としてお話しすることも、もしくは、北海道・函館地域を念頭に置いてお話しすることも出来ますし、沖縄地域をフィールドとしていますので同地域の政治や経済に関する歴史的経緯や今日的状況を含んでお話しすることも可能です。

【その他】 一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 国際開発学会 北海道自治体学会 函館人文学会 日本地域経済学会 沖縄経済学会 経済教育学会

【主な研究テーマ】

- 沖縄地域の振興開発
 - 経済自立と地方制度
 - 地域の地域による地域のための経済教育
- など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道大規模小売店舗立地審議会委員
 - 函館稜北病院倫理委員会委員
 - 北海道自治体学会運営委員
 - おきなわSDGsパートナー（沖縄の未来像研究会）
 - 函館市観光アドバイザー 市指定委員（2014年度）
 - 函館市事業仕分け 評価委員（2012年度）
- など

Keywords

記憶力 創造性 習慣化するチカラ



林 美都子 (はやし・みつこ)

【専門分野】 認知心理学 実験心理学 記憶 学習 認知

【担当科目】 認知心理学 認知科学 学習心理学 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ズボラ記憶術 ●毎日コツコツ頑張るコツとは ●メダカと学ぶ「心理学」 ●理系でも心理学は学べますか <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <p style="text-align: center;">左記に同じ</p> <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

<p>記憶を良くする十の方法 ほか</p>	<p>【対象】 <input type="checkbox"/>一般・<input type="checkbox"/>中高生・<input type="checkbox"/>教員・その他 ()</p>
-----------------------	---

【概要】

「記憶力に自信がありますか？」と訊かれて「いいえ、記憶は苦手です」と答えられる人は、実は記憶力の優れている人です。なぜなら、これまでの人生における記憶の失敗経験を「ちゃんと覚えている」からです。学校でテストを受けるとき、友達と思い出話をするとき、朝目が覚めて自分が誰でここはどこで今日は何をしようかと考えるとき、「記憶」は、いつでもわたしたちの人生に寄り添っています。それでも、まだまだあっと驚く意外な側面がどんどん明らかになってきているのが「記憶の世界」です。一緒に最新の記憶研究を学んで、楽しく記憶力を向上させてみませんか？

【その他】

一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考ににご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 准教授

【所属学会】 日本心理学会 認知心理学会 認知科学会 教育心理学会 教師教育学会 北海道心理学会 など

【主な研究テーマ】

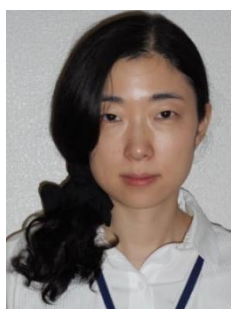
- 記憶高進現象(復習しないでテストを繰り返すだけで記憶力が向上するメカニズムの追究)
 - 無意識の記憶・潜在記憶(無意図的、無自覚であっても覚えていて、思い出せる情報の特徴、その研究方法の追究)
 - 創造力(優れた創造力や直観力は、着実に地道な論理的思考力や記憶力に支えられている)
 - メダカや両生類の実験室外条件づけ
 - 早寝早起き、コツコツ勉強する等の習慣づけ
- など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 北海道心理学会理事
 - 記憶・認知研究会
- など

Keywords

社会政策 統計データ など



藤井麻由 (ふじい・まゆ)

【専門分野】 公共経済学

【担当科目】 公共政策学 社会科学入門Ⅱ (公共政策) など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	●地域の統計データに関する調査・研究 など	●左記に同じ など	

教員が提供可能な講演・講義例

統計データの読み方・使い方

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概 要】

「客観的な証拠」に基づく議論をするために、統計データを使うことが重要だと言われています。しかし、統計データを使えば必ず「客観性」が担保できる訳ではありません。本講義では、統計データの正しい読み方・使い方を学びます。

【その他】 地域の実態を量的データによって「見える化」することの重要性について

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 アメリカ医療経済学会 医療経済学会 日本経済学会

【主な研究テーマ】

- 生活保護と就労に関する実証研究
- 労働移動とキャリア形成に関する実証研究
- 健康の社会経済的決定要因に関する実証研究

など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 市立函館病院倫理委員会 委員 (～2017年9月)

など

Keywords

シェイクスピア 英米文学 ロシア文化 など



星野立子（ほしの・りつこ）

【専門分野】 ヨーロッパ語系文学 英米文学 など

【担当科目】 人文科学入門Ⅰ（英語文学概論Ⅰ） など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学生たちと
	●函館における演劇文化 など	●函館における演劇文化 など	

教員が提供可能な講演・講義例

シェイクスピアの劇世界 ほか

【対象】 一般・中高生・教員・その他（ ）

【概要】

シェイクスピア没後 405 年が経っていますが、彼の作品は世界各地で上演され、彼の人生を扱った映画も次々と作られています。彼が創作した喜劇、歴史劇、悲劇、ロマンス劇など多様な作品世界、人間の心理を見事に表した台詞に、多くの人々は心を動かされてきました。シェイクスピアの劇世界を繙いていきたいと思えます。

【その他】シェイクスピアの他、英語文学・演劇やロシア文学・演劇について、一般向け、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 国際協働グループ 教授

【所属学会】 日本演劇学会 函館英語英文学会 函館人文学会 日本英文学会 日本シェイクスピア協会 など

【主な研究テーマ】

- シェイクスピアと比較演劇 個人研究
- シェイクスピアと映画 個人研究

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市教育委員

など

Keywords

知的障害 学習形態(交流及び共同学習支援) など



細谷 一博 (ほそや・かずひろ)

【専門分野】 特別支援教育

【担当科目】 特別支援教育基礎論 障害児地域支援臨床 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校特別支援学級における交流及び共同学習に関する研究 ● 小学校特別支援学級に在籍する児童に対する学習支援 ● インクルーシブ保育の推進に向けた園内支援委員会の在り方に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 知的障害児を対象とした休日のスポーツ活動支援 (<i>Special Olympics</i>) ● 小学校の通常学級児童を対象とした障害理解学習の実践 <p style="text-align: right;">など</p>	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

特別ではない支援教育

【対象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概要】

特別支援教育は、障がいのある児童生徒を対象とした教育ではなく、子どもたち個々がもつ教育的ニーズに対応する教育として行われる必要があります。つまり特別支援教育は、障害のある児童生徒だけでなく、全ての児童生徒を対象としています。そこで本講義では「障がい」をどのように捉えて子どもたちに支援をする必要があるのか？子どもたちの抱える困難はどのようなものなのか？を知り、特別ではない支援教育について解説します。

【その他】 中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。可能な限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域教育専攻 教授

【所属学会】 日本保育学会 日本特殊教育学会 日本教育心理学会 日本発達障害学会 北海道特別支援教育学会

【主な研究テーマ】

- 知的障害児(者)を対象とした内発的動機づけに基づく交流及び共同学習の実施に関する実践的研究 個人研究
 - 幼稚園(保育園)に在籍する気になる園児を対象とした支援方法に関する実践的研究 機関内共同研究
- など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 ゴルフ競技部会 幹事
 - NP0法人スペシャルオリンピックス日本・北海道 理事
 - 北海道特別支援教育学会 道南支部長
- など

Keywords

学校臨床 子育て支援 乳幼児教育 心理学 など



本 田 真 大 (ほんだ・まさひろ)

【専門分野】 発達臨床心理学

【担当科目】 幼児理解の理論と方法 学校臨床心理学 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 幼児教育・保育の質向上に関する支援 (環境の構成、園内研修の方法提案、10の姿からの乳幼児理解、幼小接続) ● 予防的・開発的教育相談プログラム(集団対象)の実施または作成と検証 など 	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援イベントの協力・補助 ● 幼稚園・こども園・保育園での遊び・交流活動「あそびっこだいさくせん」 ● 小～高校生対象の人間関係づくり、いじめ未然防止活動、自殺予防教育 など 	学 生 た ち と
	地域協働可能なテーマ・取組例		

教員が提供可能な講演・講義例

<p>保育の質と幼小接続</p>	<p>【対 象】一般・中高生・教員・その他(保育士・保護者)</p>
------------------	--

【概 要】

心理学の点から乳幼児期の教育・保育の重要性と特徴を解説し、小学校での学びにどのようにつながるのかを説明します。そして、大人(教師や保育士、保護者など)としてどのように乳幼児や進学間もない頃の小学校1年生と関わるとよいか(遊びの環境づくりや関わり方)を考えます。

【その他】心理学やカウンセリング、乳幼児教育・保育の様々なテーマで児童生徒や教職員、保護者対象の講演を実施します。詳しくは「北海道教育大学 本田研究室」のホームページ→「実践活動」→「研修・講演歴」をご覧ください。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校)国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 日本心理学会 日本保育学会 日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 など

【主な研究テーマ】

- 悩みの相談に関する研究
(相談をためらう心理、上手な相談の仕方など)
- 予防的・開発的教育相談プログラムの作成と検証
(ソーシャルスキル教育、ストレスマネジメント教育、いじめ未然防止活動、自殺予防教育など)
- 幼児教育・保育の質に関する研究
(幼児の挑戦的意欲、保育記録を通じた幼児理解、幼稚園教員養成教育など)

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 北海道幼児教育推進センターエリアスーパーバイザー
- 北海道教育委員会自殺予防教育プログラム検討会
- 北海道公立学校スクールカウンセラー
- 函館市教育委員会「家庭教育セミナー」講師
- 函館市教育委員会教育支援委員会(～2022年5月)
- 函館市子ども未来部子ども会議ファシリテーター(～2019年3月)
- 北海道知内町インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業推進アドバイザー(～2016年3月)

など

Keywords

環境技術 ナノ材料 応用物理学 など



松 浦 俊 彦 (まつうら・としひこ)

【専門分野】 生物工学 表面科学 科学教育

【担当科目】 基礎環境物理学 生体物質環境論 など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● ナノ材料・ナノバイオサイエンスに関する研究・支援 ● 環境技術・環境材料に関する研究・支援 ● 先端科学教育に関する研究・支援 ● SSH科学楽しみ隊の活動 ● 函館だいまん大学の活動 	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ● 科学実験教室の開催・支援 	学生たちと
	など	など	

教員が提供可能な講演・講義例

バイオミメティクス～生物から学ぶ環境技術～

【対象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概要】

水産資源が豊富な北海道。特に、イカは食卓に欠かせない食材ですが、墨などの非可食部の多くは廃棄物として処理されています。近年、こうしたイカの廃棄物を有効資源に転換させようとする新たな取り組みが北海道ではじまっています。本講義では、イカ墨を天然可食性黒色インクや次世代太陽電池、オーガニック化粧品の材料にする最新の環境技術について紹介します。

【その他】上記のテーマは一例です。一般向けから中学・高校生向けの講演ができます。日程が許す限り対応いたしますので、ご相談ください。

過去の実績：さくらサイエンスプラン（ベトナム・タイ・台湾・中国の高校生対象）、市立札幌開成中等教育学校（3・4年生対象）、附属函館中学校（全学年対象）、函館市立柏野小学校親子レク（5年生と保護者対象）、北海道大学総合博物館（市民対象）、函館横丁倶楽部（企業経営者対象）など。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授

【所属学会】 応用物理学会 日本表面科学会 日本分子生物学会 日本科学教育学会

【主な研究テーマ】

- イカ墨の太陽電池材料への応用
- イカ墨のオーガニック化粧品への応用
- イカ墨の基礎特性評価
- リボソームの1分子観察

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道函館中部高等学校 学校評議員
- 市立札幌開成中等教育学校スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 運営指導委員
- 函館だいまん大学 理事

など

Keywords

触媒化学 化学教育 など



松橋博美 (まつはし・ひろみ)

【専門分野】 触媒化学 化学教育 など

【担当科目】 基礎環境化学演習 応用環境化学 I (物質科学) など

お問合せ

☎ 0138-44-4206

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教員が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●小中高等学校での理科教育実験授業 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●小中高等学校での理科教育実験授業 など	学生たちと

教員が提供可能な講演・講義例

触媒を用いた実験

【対象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概要】

公開講座や体験入学、中高生対象の出前授業などで、触媒を用いた実験を紹介しています。実験として楽しめる「蛍光色素の合成」、「ゼオライト模型の作成」、放射線を出す物質の除去の例として「ゼオライトのイオン交換」、高校の教育課程に即した「エチレンの合成」、発展的な内容として「光触媒反応」、「導電性高分子の合成」を各地の小学校、高校での実験授業、高校教員向け研修会、科学館でのイベントなどで実施しています。

【その他】一般、専門職向けから、中学・高校などでの講義・演習など、多様な形式での講演・講義ニーズに対応します。テーマについても上記は一例ですので、過去の実績を参考にご相談ください。日程が許す限り対応いたします。

研究者情報

【現職】 北海道教育大学教育学部 (函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授

【所属学会】 触媒学会 日本化学会 アメリカ化学会 石油学会 ゼオライト学会 日本コンピュータ化学会

【主な研究テーマ】

- 環境調和型固体塩基の合成と触媒反応 個人研究
- 固体酸の酸強度評価法の開発 個人研究
- 固体超強塩基の合成と物性評価 個人研究

など

【地域貢献活動の実績 (委員歴・社会活動等)】

- 北海道本別高等学校実験授業 (2019, 2020)
- 熊本県化学実験サークル化楽の会例会講師 (2019)
- 北海道高校理科研究会道南支部総会講演会講師 (2018)
- 徳島県高等学校教育研究会講師 (2017)
- 釜石市立甲子小学校触媒教室 (2016)

など



三 上 修 (みかみ・おさむ)

【専門分野】 生態 環境

【担当科目】 生物学実験 生態学 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●地域の自然環境保全に関すること ●鳥類と人との軋轢の解消に関わる研究 ●市民向けの身近な鳥に関する講演・情報提供 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●地域の鳥類調査 ●地域の自然環境と文化の関わりの調査 など	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

身近な鳥類の生態

【対 象】 一般・中高生・教員・その他 ()

【概 要】日本には、おおよそ600種の鳥が生息しています。そのうち、我々が暮らしている町の中には、50種くらいの鳥が見られます。ですが、ほとんどの方は、その存在に気づいていません。気づいてみると、日々の生活の楽しみも増えますし、そこから地域の価値を感じることもできます。

【その他】テーマについても上記は一例ですので、ご相談ください。

研究者情報

【現 職】北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 教授

【所属学会】生物教育学会 生き物文化誌学会 日本景観生態学会 日本生態学会 日本鳥学会

【主な研究テーマ】

- 都市の鳥類多様性に関わる研究
- 五稜郭におけるスズメによるサクラの食害に関する研究
- 外来種アメリカシロヒトリのこも巻きを用いた駆除

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 函館市環境審議会委員
- 鳥を研究している。著書に『スズメの謎—身近な野鳥が減っている!?!』（誠文堂新光社）、『スズメ—つかず・はなれず・二千年』（岩波書店）、『電柱鳥類学：スズメはどこに止まってる?』（岩波書店）などがある。
- 北海道新聞のコラム「朝の食卓」「魚眼図」で執筆。

など

Keywords

生物多様性 シダ植物 OECM グリーンインフラ など



村上 健太郎 (むらかみ・けんたろう)

【専門分野】 景観生態学 生物学 緑化学 シダ植物学

【担当科目】 保全生物学 地域環境生物学
基礎生物学 生物学基礎実験 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 函館山や道南地域の海岸などに生育する（野生の）植物の生態学的な調査・研究 ● 創造的な緑地保全に関する研究と支援、助言 ● 地域の自然改変を伴う土地造成、緑化に関する研究と支援、助言 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 函館山や道南地域の海岸などに生育する植物の生態学的な調査・研究 ● 緑視率や緑被率などの計測・調査・研究を通じた都市緑化活動への提言 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と

員が提供可能な講演・講義例

都市の生物多様性と生態系ネットワーク	【対 象】 <input type="checkbox"/> 一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 中高生・ <input type="checkbox"/> 教員・その他（ ）
--------------------	--

【概 要】 近年、都市にも生物多様性は必要とされていますが、その理由、背景について景観生態学（Landscape Ecology）の観点から説明します。また多様性保全を目指した都市生態系ネットワークの現状と未来について解説します。

【その他】 これまで行った講演のテーマとして「シダ植物の不思議」、「海岸の自然再生と震災からの復興」、「屋上緑化とコケ植物を用いた緑化について」、「道南地域における都市の植物種多様性保全」などがあります。自然観察会や実習のテーマとしては「植物標本づくり講座」（小中高生向け）、「シダ植物の観察会」などがあります。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域協働専攻 地域環境科学グループ 准教授
 【所属学会】 日本緑化学会 日本生態学会 日本造園学会 日本景観生態学会 環境情報科学センター 環境共生学会 American Fern Society など

<p>【主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市緑地の生物多様性保全に関する研究 ● シダ植物の気候変動指標化に関する研究 ● 海岸植物の保全に関する研究 ● 生物多様性保全におけるハードスケープハビタット（硬質人工構造物）とノベル生態系の活用に関する研究 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公益財団法人矢作川水源基金 評議員 ● きしわだ自然友の会 評議員 ● 一宮市環境計画市民会議アドバイザー ● NEXCO 西日本滋賀県域自然環境保全検討会委員 ● 函館市緑化審議会 委員 <p style="text-align: right;">など</p>
---	---

Keywords

多様性の地域づくり 移民・難民の社会統合 など



森 谷 康 文 (もりたに・やすふみ)

【専門分野】 国際福祉 ソーシャルワーク など

【担当科目】 国際福祉論 多文化社会論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	<p>【教員が協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外国人住民の生活問題に関する調査研究及び支援 ●難民・移民の社会統合に関する調査研究 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●難民問題に関する映画上映とワークショップ ●外国人の就労支援・雇用する企業支援 ●外国人児童・生徒への学習支援 ●外国人労働者の日本語学習支援 <p style="text-align: right;">など</p>	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

<p>こんなにも身近な難民問題</p>	<p>【対 象】 <input type="checkbox"/>一般・<input type="checkbox"/>中高生・<input type="checkbox"/>教員・<input type="checkbox"/>その他(小学生)</p>
---------------------	---

【概 要】

世界では、史上最悪の事態と称されるほど難民となる人々が増大しています。一方、日本にも難民がいることはあまり知られておらず、どこか遠い国の話とを感じる人も多いのではないのでしょうか。本講義では、難民問題の基礎的な知識を学ぶとともに、難民が抱えている様々な困難だけでなく日本や各国に逃れた難民が、働き、学び、受け入れ社会の一員として活躍していることの状態を知ることを通して、難民の社会統合のあり方を考えます。

【その他】 職場や学校、さらには保健医療福祉の実践における異文化理解や外国人支援に関する法律、制度、支援技術、対象者理解などを講演、ワークショップ、事例検討など多様なかたちでおこないます。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校)国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 准教授

【所属学会】 移民政策学会 日本社会福祉学会 多文化間精神医学会

【主な研究テーマ】

- 地域の変化に関する住民意識の国際比較研究
—函館・道南地域とカナダ大西洋沿岸地域を中心に—
 - 難民の社会統合と地域定住支援
 - lived experience(生きられた体験)の生成過程の把握
—難民のトラウマ体験の意味づけを通して—
 - 外国人労働者受け入れの課題検討
- など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 北海道教育庁スクールソーシャルワーカー活用事業 エリアスーパーバイザー
 - 函館市自殺予防対策実務者会議 委員
- など

Keywords

情報活用能力 ICTと教育 横断的な学び など



山口 好 和 (やまぐち・よしかず)

【専門分野】 授業研究 教育メディア 地域教材 など

【担当科目】 情報社会と教育 学習環境デザイン論演習 など

お問合せ ☎ 0138-44-4206 ✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】	学 生 た ち と
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の特色・魅力を活かした教材づくり ●「個別最適な学び」に向けた指導法の工夫 ●ICT「1人1台環境」の有意義な活用方法、「プログラミング的思考」の手だて ●探究型学習の環境構成、教材開発 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●「Society5.0」「情報モラル」教材の開発 ●地域の魅力を学ぶアプリ作成、映像コンテンツの編集・制作 ●地域の教育資源（博物館、美術館、図書館など）のメディア活用 など 	

教員が提供可能な講演・講義例

ネット社会のあるきかた ほか

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概 要】「インターネット」が家庭に届いて四半世紀が、またスマートフォンがポケットに入って早や10年が経ちました。「アフターデジタル」と呼ばれる現代社会で、健康に暮らし豊かに学び続けるためには、どんな知恵を身に付けておくと幸せなのでしょう。過去の伝統は新しい技術でどう残せるのでしょうか。世の中の仕組みの変化を正しく見据えながら、これからの社会を生き抜くすべを一緒に考えてみましょう。

【その他】講演・講義のスタイルはニーズに合わせて対応できます。ワークショップ形式、ディスカッションなどを採り入れて、参加者間のコミュニケーションがとれる工夫をいたします。必要な教材、機材もこちらで準備できますのでご安心ください。また上記テーマはあくまでも一例ですので、ご遠慮なくお声掛けください。

(参考：函館校教育方法学研究室での活動 <https://emlab.jp/log/>)

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部（函館校）国際地域学科 地域教育専攻 准教授

【所属学会】 日本教育メディア学会 日本教育工学会 北海道教育学会 函館 学校教育学会 など

【主な研究テーマ】

- 学校教育、生涯学習分野における各種メディアの効果的な活用法（「情報活用能力」を育てる環境構成、学校図書館の利用、地域の特色を活かした教材づくりなど）
- 授業研究の方法論を工夫する（児童生徒の学び合い、教員の共同性を活かす研修環境、サークル活動支援など）
- 新しい教育課題への対応策（例「プログラミング教育」「言語活動」「道徳」「外国語科」などの教材づくり）
- 地域で支える教育のありかた（「コミュニティスクール」「学校運営協議会」の運営手法など）

など

【地域貢献活動の実績（委員歴・社会活動等）】

- 北海道教育委員会「小学校プログラミング教育実践指定校事業」支援
- 函館市教育委員会「小学校社会科副読本 わたしたちの函館」編集アドバイザー、函館市企画部 小学生向け映像教材「たからのまち はこだて」制作委員会
- 「道南情報教育研究会ネットワーク」（公開授業・協議会助言、ワークショップ支援など）
- 北海道函館西高校「探究学習」、北海道知内高校「地域創生学習」での教材・カリキュラムづくり共同研究

など

Keywords

若者の自立 脱北者の地域社会への定着 など



尹 鈇 喜 (ゆん・じんひ)

【専門分野】 家族社会学 地域研究 ジェンダー

【担当科目】 社会学概論 地域社会学 現代社会変動論 など

お問合せ ☎ 0138-44-4356 ✉ yoon.jinhee@h.hokkyodai.ac.jp

地域協働可能なテーマ・取組例

教 員 が	【教員が協働可能なテーマ・活動例】 ●若者の自立と親子関係に関する質的研究 ●在日韓国・朝鮮人のライフストーリーと地域社会への定着に関する研究 など	【学生と共に協働可能なテーマ・活動例】 ●地域における若者の自立と家族に関する質的調査 ●在日韓国・朝鮮人の地域生活に関する質的調査 など	学 生 た ち と

教員が提供可能な講演・講義例

脱北者の社会適応と生存戦略 ほか

【対 象】 一般・ 中高生・ 教員・その他 ()

【概 要】

近年、韓国では3万人を超える脱北者が定着しています。彼・彼女らは、同じ文化背景や言語を持っているものの、韓国社会に適応するのは容易ではありません。脱北者が韓国社会に適応するためにどのような生存戦略が行われているかを説明し、地域社会の中でマイノリティの方が生活することについて考えます。

【その他】成人期の親子関係、若者の自立、韓国の教育に関するテーマでの講演・講義ニーズに対応します。

研究者情報

【現 職】 北海道教育大学教育学部(函館校) 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 講師

【所属学会】 日本社会学会 日本家族社会学会 地域社会学会 日本移民学会 教育文化学会 など

【主な研究テーマ】

- 現代韓国を生きる若者の自立と親子の戦略
- 脱北者の韓国社会への適応に関する研究

など

【地域貢献活動の実績(委員歴・社会活動等)】

- 地域協働推進センター人材養成プログラム部門担当

など

送信先：北海道教育大学函館校地域協働推進センター

TEL: 0138-44-4206

FAX: 0138-44-4380

E-MAIL : hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター長 殿

提出日： 年 月 日

提出者氏名：

地域協働・協力相談シート

申込者の概要			
種 別		申込団体 名 称	
代 表 者 (職名)		担 当 者 (職名)	
住 所	〒		
連 絡 先	T E L		F A X
	E-MAIL		
事 業 内 容			
地域協働・協力を求めたい内容			
種 類	【 】調査 ・ 【 】研究 ・ 【 】講演 ・ 【 】助言 【 】その他（具体的に）： ※依頼したい教員が決まっていれば教員名 【第1希望】 【第2希望】		
期 間	年 月 日～ 年 月 日（概ね 年・ヶ月間）		
課 題 の 概 要			

現 状	
依 頼 内 容	
	①学生の参加 【 】 要（ 人程度） ・ 【 】 否 ②学生への謝金の有無 【 】 有（1人 円程度） ・ 【 】 無 ③現地までの交通 【 】 送迎有（手段： ） ・ 【 】 自力移動
期待される 学生への 教育効果	

確認事項（ をお付けください）

- 貴学の教育方針（ディプロマ・ポリシー）に賛同します。
- 必要に応じて貴学との定期的・継続的な協議機会を設けることに協力します。
- 必要に応じて貴学と協議し、学習プログラムの策定に協力します。
- 学習プログラムの実施に際しては、貴学と協議の上、コスト（人的・経済的、現地との往復交通等）の一部を負担することに協力します。
- 貴学の学生と協働する場合は、あくまでも大学の教育活動の一環として教育効果を与えることを期待するものであり、学生に対して業務の一部を安価に請け負わせるものではないことを理解します。
- 特定の宗教・政治活動ではありません。
- 公序良俗に反しない活動です。
- 協働活動における研究成果は、貴学に帰属することを了承します。

ご記入ありがとうございました。2週間程度で何らかのご回答をさせていただきます。

※大学使用欄

受付日： 年 月 日 ➡ 回答日： 年 月 日

担当者：

北海道教育大学函館校 地域協働シーズ集 < 2022年度 >

発行日 2022（令和4）年 5月

編 集 北海道教育大学函館校 地域協働推進センター
〒040-8567 北海道函館市八幡町1-2

発 行 北海道教育大学函館校

電 話 0138-44-4206

hue



Hokkaido
University of
Education
HAKODATE
Campus



Center for
REGIONAL
Collaboration

社会協働
部門

地域づくり
支援実習

観光
コンシェルジュ
実習

巡回型
サテライト・
オフィス

人材養成
プログラム
部門

国際地域
イノベーター
人材養成
プログラム

地域
プロジェクト

教育協働
部門

高大接続事業

地域探求学習
導入支援

教職
大学院
附属
中学校

ICTによる
遠隔学習
支援

教員研修支援

小中学校の
出前授業

【北海道教育大学函館校Webサイト】



地域協働推進センター（総合）



SC巡回型サテライト・オフィス



地域プロジェクト

【ご相談後の流れ】



地域課題解決に関するご相談

【お問い合わせ先】



地域協働推進センター
hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

【相談ご記入用紙】



地域協働・協力相談シート

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター 窓口担当（総務グループ）

〒 040-8567 北海道函館市八幡町 1 番 2 号

☎ 0138-44-4206 受付 8:30~17:00（土日祝・年末年始を除く）

☎ 0138-44-4380（FAX専用）

✉ hak-chiikicenter@j.hokkyodai.ac.jp

🌐 <https://www.hokkyodai.ac.jp/hak/intro/community.html>